

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677400121
法人名	有限会社セントロメディコ
事業所名	グループホーム春華苑
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町新富563-1番地 (電話) 0994-65-7299
自己評価作成日	令和2年1月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年2月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・残存機能維持、向上を目指し個人に合わせた運動に取り組んでいる。
- ・レクリエーションで、室内では風船やボール遊びや体操、天気の良い日は、苑外に散歩に行っている。生活の中で、できることをして頂けるように支援している。
- ・一人ひとりの能力を活かして、その方にあった出来ることを行いながら、充実した一日を過ごして頂くけるように支援している。
- ・見取りケアを行っている。
ご家族の承諾の元、終末期には家族とともに過ごせるように支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域密着型サービスの意義を踏まえ「地域の方と交流をはかり、心と心のふれあいを大切に」という文言を理念に盛り込み、自治会への加入や中学生の職場体験の受け入れ、保育園児によるお遊戯披露など、日常的に交流している。また、事業所主催の花見会には、利用者や家族、地域住民等も参加し、総勢100名程の参加が得られており、住民も楽しみにしている地域の大切な行事になっている。

利用者、家族の意見や思いを入居時に詳しく聞き取ると共に、入居後も日々の生活の中で見せる表情や仕草等の様子から思いを汲み取っている。また、家族には、年1回アンケートを実施し、職員の言葉遣いや身だしなみ、利用者への接し方について等の意見を求め、改善点や工夫点を話し合い、家族にアンケート結果を報告している。

認知症ケアや接遇の研修を実施し、さり気なくトイレ誘導を行ったり、ポータブルトイレを使わない日中の時間帯には、丁寧に掃除を行った後、目に付かないよう部屋の隅に置くようにしている。また、今年度からキャリア段位制度を利用して、プライバシーや尊厳、羞恥心について学ぶ機会を設けている。

利用者、家族の意向を基に、ケアカンファレンスや定期的モニタリング、主治医の意見も参考にしてケアプランを作成している。利用者の思いや家族の意向の変化、また身体状況に変化が見られた場合には、その都度計画を見直し、改めて担当者会議を実施した上で、再度、関係者全員にケアプランを配布している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼時、理念の唱和を行い共有している。	理念にある「ゆとりある雰囲気大切に」を重要視し、毎朝の唱和や1分間スピーチで意識付けを図っている。また、法人全体の年度目標とホーム独自の目標も掲げ、利用者への日々の支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	大きな行事などの時は、地域の方に声かけし、参加して頂いている。 苑だよりを月1回、地域の方にも配布している。 地域のお茶会に参加している。	毎月の苑便りを地域住民に配布し、事業所の取り組みを紹介したり、行事への参加を呼び掛けている。保育園児による遊戯の披露や中学生の職場体験の受け入れのほか、ホーム主催の花見に地域住民を招くなど、地域住民と積極的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議などで、報告、連絡している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行っている。 推進委員の意見を取り入れ活かしている。	会議には家族や自治会長、行政職員等が参加し、主にホームの活動内容の報告を行うほか、地域に高齢者が多いことや河川が近いこともあり、避難経路の確認やマニュアルの整備について等、災害に関する意見がよく出されサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や訪問調査などで伝え、意見も伺っている。</p>	<p>社会福祉協議会による金銭管理サービスを利用したり、成年後見制度や福祉事務所との関係もあるため、行政には日常的に出向き、意見や助言をもらっている。また、福祉と医療従事者で構成されるボランティア団体にも所属し活動に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>拘束しないケアに取り組んでおり、やむおえない場合は、家族の了解を得るようにしている。</p>	<p>隣接するグループホームと合同で勉強会を実施したり、3ヶ月毎に各ユニットで身体拘束をしないケアの方法や個別の対応についてを話し合っている。また、言葉による拘束等、不適切な対応がみられた場合は、さり気なくサインを送り、後から個別に注意喚起を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修、勉強会、カンファレンスなどを行い、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修、勉強会、カンファレンスなどを行い、虐待防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明を行っている。 家族会等を利用し説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートなどで出た意見や要望を改善できるように取り組んでいる。	年2回家族会を実施し意見を聞き取るほか、職員の言葉遣いや身だしなみ等、利用者との関わりについてのアンケートも実施し意見を汲み取っている。アンケートで出た意見や集計内容を職員間で話し合い、改善点や工夫する点を家族に報告している。また、毎月苑便りを家族に送付して近況を報告し、意見や感想を伺っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時や日々の業務の中で意見を聞く機会を設けている。 又、職員同士で自由に意見交換が出来、業務改善等行っている。	毎月の職員会議や日頃の会話、年2回ユニットリーダーが個別面談を行い、個々の意見や提案を聞いている。勤務表作成時は、可能な限り希望する休みが取れるよう調整し、資格取得に関しても休みを優遇したり勉強会を開くなど、働きやすい環境づくりに配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に応じて、手当・給与の見直しを行われている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者から代表者への報告で、職員一人ひとりを把握している。研修会等にも参加する機会を設け、スキルアップをはかれるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の研修会を通して、交流する機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>大きな行事などの時は、地域の方に声かけし、参加して頂いている。</p> <p>苑だよりを月1回、地域の方にも配布している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会時には、入居者の様子を伝えたり、会話をしたりして、家族が要望・意見を言いやすい雰囲気づくりができるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と話をしたり、家族の要望・意見も聞きながら必要としている支援を見極めるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者のレベルに合わせて、出来ることをして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等がある時は、家族にも声かけし参加して頂き、入居者と過ごせるように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時は、居室で一緒にお茶を飲んでいただいている。	入居前の関係者や家族からアセスメントした情報をフェイスシートに落とし込み、電話や手紙の取り次ぎのほか、墓参り等、個別に希望する馴染みの場所に出かけている。知人や友人等、来客の際は、お茶を用意し、居室でゆっくり過ごしてもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールでの席替えなどをし、気の合う方を近くにしたり、会話の好きな方同士が話をできる場所作りにも努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから連絡を行うことはないが、連絡等あった際は対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で把握できるように努めているが、わからないときなどは、カンファレンスなどで話し合っている。	利用者の思いを汲み取れるよう、日常の様子をよく見るようにしており、気付いたことを毎月の職員会議やケアカンファレンスで話し合っている。把握した内容は、申し送りノートに記録し職員間で情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人がわからない時などは、家族に聞いたりしながら把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	声掛けをしたり、行動や状態観察などに努め、申し送りなどでも把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的、変化時にカンファレンスを行い、また、主治医などの意見も聞きながら計画作成している。	利用者や家族の思いを基に、日々の様子観察やケアカンファレンスからの気付きを参考にしながら、ケアプランに反映させている。また、受診時に確認した主治医や看護師の意見も参考にすると共に、思いや意向の変化や身体状況に変化が見られた場合には、その都度プランを見直し、現状に即したケアプランに作り直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送りや記録などで情報を共有して、変化時にはみんなでカンファレンスを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者の変化に対応しながら、状態に応じた支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事がある時は、参加して頂けるようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医の定期的な往診、訪問看護による状態観察を支援している。</p>	<p>入居前の受診の経過を把握し、入居後も従来からのかかりつけ医や協力医療機関による訪問診療が受けられる体制を取っている。受診の内容は利用者毎の申し送りノートに記録し、職員間で情報を共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護師と連携をとりながら支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院中は、病院側の看護師などと連絡と取りあうようにしている。面会を兼ねて状態を把握できるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族・主治医・訪問看護・スタッフでカンファレンスを行い、これからの方針を共有し支援している。	入居時に、急変時の対応について説明すると共に、重度化した場合の対応に係る指針を作成し、段階的に話し合いをした上で看取り支援を実施している。ターミナル支援についての内部研修の実施や協力医療機関の医師による勉強会に参加するなど、看取りに関する支援方法や情報の共有、支援技術の向上を図っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	勉強会や研修などで学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>月に1回、消防訓練、自主訓練等を実施している。</p> <p>地域へは、なかなか協力体制が出来ていない。</p>	<p>年2回、火災や地震を想定した災害訓練を消防の立ち会いの下で実施するほか、毎月避難経路の確認やAEDの操作手順の確認等、自主訓練を実施している。備蓄については、飲料水や食料を約3日分備え、カセットコンロや懐中電灯、防災頭巾等の備品も取り出しやすい場所に管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会で学んだり、スタッフ同士でもお互い声かけを行い注意している。	毎年、接遇や認知症ケアについての研修会を開催すると共に、キャリア段位制度を用いてプライバシーや羞恥心に関してを学んでいる。方言については、馴れ合いの言葉遣いにならないよう、人格を尊重した言葉を選び話すよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に声掛けし、出来ることは自分で決めて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調、気分を見ながら声かけし、本人の思いに沿った支援をしている。無理はさせないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ドライブ・外出時などは、本人の気にいった服などを選んで頂くよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台ふきなど手伝って下さる。季節の果物を提供し季節を感じて頂いている。	食事は外注のため利用者が調理に携わることはないが、お盆拭きや台拭き等、食事の準備を手伝う利用者がいる。節分の際には巻きずしを用意したり、昼食時には必ず旬の果物を提供するなど季節感を大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量や食事形態をスタッフが共有し、工夫して提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けし、付き添いや見守りで行っている。 また、磨き残しがあったりするため後から確認・洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間帯などは、センサー対応、ポータブルトイレなど個人に合わせた支援を行っている。	おむつを外す努力やおむつ代削減のため排泄チェック表をつけ、個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。また、尿量を見極め、パットの大きさを工夫したり、利用者や家族の希望により、日常の生活行動を妨げない方法で排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	調理の工夫をしたり、水分を多めに摂って頂いている。 主治医に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴する順番などを本人に決めて頂いている。入りたくない時は無理はしない様にしている。	週3回の入浴日としているが、汚染した際や希望があればその都度入浴は可能である。入浴をためらう利用者には声をかけるタイミングを見計らったり、清拭に切り替えるなど、無理強いすることのないよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活スタイルに合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全部は理解できていないが、状態に応じて、カルテなどで確認し、主治医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事・レクリエーションなどで気分転換を図ったり、出来る手伝いをして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事以外は、苑庭での散歩など行っている。 家族と外出される方もおられる。	高齢化に伴う重度化や大人数での移動手段確保が困難なため外出の機会が減ってしまったが、屋内で過ごす時間が長すぎるとストレスにつながるため、初詣や花見、ドライブ等を年間行事計画に組み込み出かけている。また、日常的に散歩に出かけたり、隣接するグループホームにいる友人に会いに行くなど、自由に過ごしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ドライブなどで買い物をする場所に行く際は、家族より預かって支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が希望される時、家族が遠方の方には、時々スタッフの支援で電話している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールではテレビをつけたり、音楽をかけたりしている。季節の花を飾ったり、クーラーなどで温度調節も行っている。</p>	<p>フロアの天井は高く、天窓もあるため明るい。行事の写真を掲示しているため、日々の様子や過ごし方がよくわかる。掃除や空調にも気を配っており、こまめな換気や加湿、消毒による除菌を徹底させている。2ユニットある中の一方は浴槽が浴室中央に配置されているため、どちらからでも出入りしやすく、また、介護しやすい造りになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合って利用者同士で話ができるように席を考えたり、希望を聞いたりして居場所を工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみの物を置いたり、家族の写真などを貼ったりしている。</p>	<p>ベッドやエアコン、テーブルやタンスに加え、テレビも備え付けられている。毎日を居心地良く過ごせるよう、馴染みの品を自由に持ち込み飾っている。また、気持ちが安らげるよう仏壇を持ち込まれている利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりを設置したり、移動しやすいような環境づくりをしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない